

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 金・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語Ⅲ (GermanⅢ)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2P18・19	科目分類 外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室 担当教員:目 正勝 /Eメールアドレス:m79sakka@aol.com /研究室:(非常勤講師)			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい: 文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。ドイツ語文の読解力や語彙を身につける。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。</p> <p>授業方法: 様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 年間を通じて 2 冊のテキストを使う。前期は中級ドイツ語への橋渡しのための、文法の再確認と平易なドイツ語文章の読解を内容としている。これを、11 回～12 回の授業で読み終わる。そのあと、プロイスラーの「小さな魔女」を読む。これは、後期も引き続き読んでゆく。 教室では毎回 4～5 人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。また、独作文の練習問題を通じて、文法の理解を深める。</p> <p>授業到達目標: 辞書を引きながらでも、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ概ね読むことができるまでに力をつけること。</p>			
<p>授業内容</p> <p>前期は、教科書「初級総仕上げ 2 度目のドイツ語」全 11 課を読む。ドイツ語テキストを読んでゆくとともに、文法事項の確認、補足、文法の練習問題、そして独作文も。 第 12～13 回目からは「小さな魔女」を読む。</p> <p>第1回 第1課、Kasperle-Theater 冠詞類の格変化、形容詞の語尾変化。 第2回 第2課、Fasching 未来、話法の助動詞、形容詞の語尾変化(弱変化)など。 第3回 第3課、Musik-Unterricht 非人称動詞、命令、依頼、呼びかけの表現など。 第4回 第4課、Tanzstunde 動詞の三基本形、分離・非分離動詞の三基本形。 第5回 第5課、Abiturfahrt 受動、状態受動、2 格のs、先駆けの es。 第6回 第6課、Im Hörsaal 再帰動詞、代名詞と前置詞の融合。 第7回 第7課、Bayreuther Festspiele 関係代名詞、不定関係代名詞、関係副詞。 第8回 第8課、Europa 副文、接続詞、合成名詞の性。 第9回 第9課、Hochzeitsreise zu 不定詞。 第10回 第10課、Der größte Adventskalender 形容詞・副詞の比較級と最上級、絶対比較級など。 第11回 第11課、Zukunftstraum 接続法、接続法第 2 式の用法。 第12回 第12課、補足、練習問題、「小さな魔女」1～2 ページ。 第13回 第13課、「小さな魔女」2～3 ページ。 第14回 第14課、「小さな魔女」3～4 ページ。 第15回 全授業のまとめ、定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: 前期 「初級総仕上げ 2 度目のドイツ語」 木村クリスタ 他著 白水社 「小さな魔女」 加藤 宏 著 郁文堂 後期 「小さな魔女」(前期の続き)		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(約 90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約 10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			